第22回奈良県障害者スポーツ大会開催要綱

目　　的

この大会は、障害者スポーツを広く振興するとともに、県民の障害者スポーツに対する理解を深め、障害者の社会参加の促進と、障害者福祉の増進に寄与することを目的とする。

基本方針

(1)　各競技会の競技運営は、奈良県体育協会加盟等のそれぞれの競技団体に主管を依頼する。

(2)　大会出場者の中からその成績等を参考にして、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」《令和4年10月29日(土)～10月31日(月)栃木県開催》への出場選手を選考する。ただし、団体競技については、県大会で優勝したチームが近畿ブロック予選会に出場する。

※新型コロナウィルス感染症感染拡大防止の対策を講じる。

1. 原則各競技大会は午前・午後のいずれかの半日開催とする。

2. 従来２種目までエントリーできた水泳競技及び陸上競技については１種目のみのエントリーとし、リレー種目は行わない。

3. 今年度の各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者は最小限（各選手2名まで）にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行う。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

１．名　　称：第22回奈良県障害者スポーツ大会

２．主　　催：奈良県・奈良県障害者スポーツ協会

３．審判協力：(一財)奈良陸上競技協会・奈良県水泳連盟・奈良県卓球協会・田原本町卓球連盟・奈良県ソフトボール協会・（一社）奈良県バスケットボール協会・奈良県障害者フライングディスク協会・奈良県障害者スポーツ指導者協議会

４．後　　援：奈良県身体障害者福祉協会連合会・（一社）奈良県視覚障害者福祉協会
（一社）奈良県聴覚障害者協会・（一社）奈良県手をつなぐ育成会
（社福）奈良県社会福祉協議会・奈良県ボランティア連絡協議会
奈良県知的障害者施設協会・（公財）奈良県スポーツ協会
奈良県市長会・奈良県町村会
奈良県特別支援教育研究会・奈良県障害者スポーツ指導者協議会

５．開催競技期日及び会場

令和4年4月　9日(土)　サッカー：県立高等養護学校グラウンド《雨天決行》
令和4年4月10日(日)　バスケットボール：奈良県心身障害者福祉センター　体育館
フットベースボール：県立高等養護学校グラウンド《少雨実施》
令和4年4月17日（日）卓球：奈良県心身障害者福祉センター、県立高等養護学校体育館
ソフトボール：県立高等養護学校グラウンド《少雨実施》
令和4年5月　7日（土）バレーボール：奈良県心身障害者福祉センター　体育館
令和4年5月　8日（日）フライングディスク：県立高等養護学校グランド《少雨実施》
令和4年5月15日（日）水泳：まほろば健康パーク　スイムピア奈良（予定）
令和4年5月22日（日）陸上：奈良県立橿原公苑陸上競技場　《雨天決行》

６．競技規則：適用する競技規則は、2022年度日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

７．競技方法

(1)原則として、予選競技は行わずすべて決勝競技として行う。ただし、卓球競技については、エントリー数に応じてトーナメント形式またはリーグ戦形式で行うものとする。

(2)出場者が少ない障害区分については、類似した障害条件の者と一緒に競技を行うことがある（表彰は障害区分別に行う）
(3)その他、各競技実施要項及び主管競技団体の指示に従うこと。

８．出場資格：出場者は、次の各号に該当するものとする。
(1)満年齢１３歳以上の者。（令和４年４月１日を基準とする）
＊ また、各個人競技者は、次の年齢により区分されるものとする。
身体の部:１部（３９才以下）・２部（４０才以上）
知的の部:少年（１９才以下）・青年（２０才～３５才）・壮年（３６才以上）
精神の部:年齢区分無し、性別のみ（卓球）
(2)身体障害者については、身体障害者手帳の交付を受けた者。
(3)知的障害者については、療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。
(4)精神障害者については、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。個人種目卓球、団体種目バレーボール競技のみ出場可とする。
(5)奈良県内に居住する者。（施設入所、学校通学者は県内に住居していれば住民票が県外でも可である。）

９．出場制限 ：個人競技は、県大会に限り下記の出場制限を設ける。
(1)陸上競技の出場種目は、本年度１人１種目とする。
※障害区分《別表１》により午前の部、午後の部に分散して実施する。
午前：身体障害者の部、午後：知的障害者の部
【身体部門】：競走競技、跳躍競技、投てき競技の中から 1 種目選択する。障害区分番号 24 の人は、競技エリアでは、光の通らないアイマスクを装着しなければならない。障害区分番号 24 の人で（50m音源走）以外の競走競技に出場する人は、伴走者を認める。ただし伴走者は出場者が探してくるものとする。
★内部障害（原則、膀胱又は直腸機能障害）については、以下の種目に限り出場できる。
(走:50m、1,500m)・(跳:立幅跳、走幅跳)・(投:ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ投、ｼﾞｬﾍﾞﾘｯｸｽﾛｰ)の 6 種の中から、上記の【身体部門】の出場制限に準じて出場できる。
【知的部門】：競走競技、跳躍競技、投てき競技の中から 1 種目選択する。※4×100mリレーは、本年度実施しない。
(2)水泳競技は、※今年度、1 人 1 種目のみの出場とし、午前中に実施する。リレーは実施しない。出場者の障害区分別種目表は《別表 2》とする。障害区分番号 23 の人は、競技中、光の通らないゴーグルを装着しなければならない。
(3)卓球競技はシングルスのみで、障害区分番号 15 該当者のみ、STT に申し込む。障害区分 15 の人はアイマスクを装着しなければならない。
《別表３》 卓球用ゼッケン［上部:氏名・下部:所属名］は、競技服装の背部に付けること。
（ゼッケンは各自で準備する。縦 20cm・横 25cm 程度）
※午後から大会を実施する。（センターでは昼食がとれないため、各自で昼食をすませてくる）
(4)フライングディスクのアキュラシーについては 5mか 7mを選択、ディスタンスについついては座位か立位を選択する。（どちらか一方だけでも可）《別表 3 の 4》
※障害区分により午前の部、午後の部に分散して実施する。
午前：身体障害者の部、午後：知的障害者の部

10. 参加申込み方法
(1)参加申し込みは、県・市及び十津川村の福祉事務所(在宅者)、学校、入所施設を単位として行う。
注）通所施設への通所者は、①-1 在宅者と同じ要領で、居住地の福祉事務所へ申し込む。

(2)各競技会の出場希望者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ《※別添参加申込み記入例及び記入要領を参考に》、以下の手続きにより申し込む。
① -1 在宅者（作業所等施設へ通所の方も在宅者扱いとする）は、3 月 2 日(水)までに、そ

の居住地を所管する福祉事務所へ提出するものとする。

① -2 各福祉事務所は提出された申込書を確認し総括表にまとめて、3 月 16 日（水）までに身障部門・知的部門・精神部門に分けて、奈良県障害者スポーツ協会事務局あてに送付するものとする。

② 学校に在学中又は、施設に入所中の方については、所属長の承認を経て 3 月 16 日（水）までに事務局あてに送付するものとする。ただし、学校に在学中であるが居住地から在宅者として参加する場合は、（注：①-1 在宅者の要領で申込む）

注）学校の担当者は、分かる範囲でスポーツ協会事務局まで連絡をお願いする。また、学校・入所施設の新入生で《個人競技：卓球・フライングディスク・水泳・陸上の出場希望者》については 4 月 13 日(水)までに、申し込むこととする。

〈※団体競技の申込みは、原則 3 月 31 日（木）までに申込用紙を提出すること〉

③ -1 申込後、各競技会前日までに欠席者が出た場合は、必ず下記まで棄権届を FAX していただくと共に、念のため発信の電話を行う。また、陸上競技会当日に欠席者が出た場合は、棄権届に欠席者全員分を記入し、受付時に《受付場所》へ必ず提出する。

③ -2 陸上競技以外の当日欠席者は、受付時に棄権届を提出するなど、必ず申告する。

《※以上①～③は、参加申込み手順も参照》

11. 表　　彰

(1)各競技の表彰は、各組ごとに 1 位から 3 位までメダルを授与する。

(2)出場者が少ない障害区分のため、類似した障害条件の者と一緒に競技を実施した場合は、障害区分で表彰する。**表彰式は行わないので、競技終了後、個々にメダルを授与し、個々に解散する。**

12. 開・閉会式について

※開・閉会式については実施しない。

13. 参加選手の決定

(1)各福祉事務所長・学校長・施設長からの申込に基づき、事務局で申込書の確認をし、参加を決定するものとする。（※所属の担当者に確認の電話をする場合があります）

14. 個人情報の取り扱いに関して

(1)本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。

(2)参加申込書・総括表の提出により、原則として上記(1)の取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・施設・学校等名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会を取材する報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。

(3)大会を取材する報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。

15. そ の 他

(1)陸上競技の詳細については、5 月 11 日（水）開催の陸上競技事務担当者会議で説明。

(2)この要綱に定めるもののほか、大会の実施に関し必要な事項は各競技別に定める。

(3)大会当日、選手・介助者・保護者をはじめ、大会関係者全員には健康チェックシートの提出を求め、体温 37.5℃以上又は健康チェックシートにチェック項目がある者、さらに未提出者は大会に来場出場できない。

(4)新型コロナウィルス感染症感染拡大の状況により、競技会を中止する場合がある。

〒636-0344　奈良県磯城郡田原本町宮森 34-4
奈良県心身障害者福祉センター内
奈良県障害者スポーツ協会事務局 宛（休館日：月曜日午後、火曜日）
TEL.0744-33-3393　FAX.0744-33-1199

サッカー競技会実施要項

日　　時：**令和４年４月９日（土）　　※ 雨天決行**
9：00　受付開始（福祉センターエントランス）
※　開会式は実施しない。
10：00　競技開始
12：15　競技終了（予定）　※表彰式・閉会式は実施しない。

場　　所：奈良県立高等養護学校　グラウンド

開 会 式：
閉 会 式：
※実施しない。放送等で競技開始を呼びかける。全ての試合が終了し、結果判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。

競技規則：2022 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

参加申込：(1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとし監督１名、コーチ２名以内、選手 16 名以内（男女混合可）とする。（ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする。）

(2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則３月 31 日（木）までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

注）各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者は最小限（各選手２名まで）にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行っていただく。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

そ の 他：優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

バスケットボール競技会実施要項

日　　時：令和４年４月 10 日（日）
9：00　　受付開始（福祉センターエントランス）
※　開会式は実施しない。
10：00　　競技開始
12：30　　競技終了（予定）　※表彰式・閉会式は実施しない。

会　　場：奈良県心身障害者福祉センター　体育館

審判協力：奈良県バスケットボール協会

競技規則：2022 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開 会 式：
閉 会 式：
※実施しない。放送等で競技開始を呼びかける。全ての試合が終了し、結果が判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。

参加申込：(1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとし監督１名、コーチ２名以内、選手 12 名以内とし、男女別のチーム編成とする。（ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする。）
(2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則３月 31 日（木）までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

注）各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者は最小限（各選手２名まで）にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行っていただく。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

そ の 他：優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

フットベースボール競技会実施要項

日　　時：令和 4 年 4 月 10 日（日）※少雨実施《注：予備日を設けていない》
9：00　受付開始（福祉センターエントランス）
※　開会式は実施しない。
10：00 競技開始
13：00 競技終了（予定）　※　表彰式・閉会式は実施しない。

場　　所：奈良県立高等養護学校　グラウンド

競技規則：2022 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開 会 式：
閉 会 式：
※今年度は実施しない。放送等で競技開始を呼びかける。試合が終了し、結果が判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。

参加申込：(1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとし監督 1 名、コーチ 2 名以内、選手 15 名以内（男女混合可）とする。
（ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする。）
(2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則 3 月 31 日（木）までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

注）各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者は最小限（各選手 2 名まで）にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行っていただく。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

そ の 他：優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

卓球競技会実施要項

日　　時：令和４年４月17日（日）
12:00　受付開始（福祉センターエントランス）
※　開会式は実施しない
13：00　競技開始
16：30　競技終了（予定）　※表彰式・閉会式は実施しない

会　　場：奈良県心身障害者福祉センター
＊一般・精神卓球（福祉センター体育館・県立高等養護学校体育館）
＊サウンドテーブルテニス〈STT〉（多目的室）

審判協力：奈良県卓球協会審判部　田原本町卓球連盟

競技規則：2022年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開 会 式：
閉 会 式：
※実施しない。放送等で競技開始を呼びかける。全ての試合が終了し、結果が判定された時点で各障害区分の１位から３位までの選手にメダルを授与する。選手は個々に解散する。

競技方法：一般・精神卓球・サウンドテーブルテニス〈STT〉共に５ゲームマッチとする。（1ゲームは11ポ イント）
試合は、トーナメント形式又はリーグ戦形式で行う。ただし、トーナメント形式で行う場合は３位決定戦は行わない。またリーグ戦形式で行う場合は、「日本卓球ルール細則」の定める方法により、勝敗及び順位を決定する。
なお使用球については、直径40㎜の公式球を使用する。

注意事項：(1)招集は、競技会場の指定された場所で行うので、係員の指示に従うこと。
(2)招集は、競技開始時刻10分前に完了する。
(3)招集に遅れた選手の出場は認めない。
(4)ゼッケン［苗字・所属名］は、各自で準備すること。（布に手書きでよい）

＜出場選手は、背部に１枚ゼッケンを付けること＞

ゼッケン 作成例

苗字 所属名

縦20ｃｍ
横25ｃｍ　程度

(5)競技用具（ラケット等）は、選手が用意する。《試合球は主催者が準備する》

注）各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者（各選手２名まで）は最小限にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行っていただく。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

表　　彰：表彰式は行わないので、各組別の競技終了後に試合結果が判定された時点でメダルを授与する。

ソフトボール競技会実施要項

日　　時：令和４年４月17日（日）※少雨実施　《注：予備日を設けていない》
9：00　受付開始（福祉センターエントランス）
※　開会式は実施しない。
10：00　競技開始
13：30　競技終了（予定）　※表彰式・閉会式は実施しない。
場　　所：奈良県立高等養護学校　グラウンド
審判協力：奈良県ソフトボール協会
競技規則：2022年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開 会 式：
閉 会 式：
※実施しない。放送等で競技開始を呼びかける。当該試合が終了し結果が判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。敗退したチームごとに解散。

参加申込：(1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとし監督１名、コーチ２名以内、選手20名以内（男女混合可）とする。
（ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする）

(2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則３月31日（木）までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

注）各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者は最小限（各選手２名まで）にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行っていただく。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

そ の 他：優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

バレーボール競技会実施要項

日　　時：**令和４年５月７日（土）**
9：00　受付開始（福祉センターエントランス）
※　開会式は実施しない。
10：00　競技開始　（＊）試合形式
12：30　競技終了（予定）　※表彰式・閉会式は実施しない。
会　　場：奈良県心身障害者福祉センター　体育館
競技規則：2022年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。
開 会 式：
閉 会 式：
※実施しない。放送等で競技開始を呼びかける。全ての試合が終了し、結果が判定された時点で各チームの代表者にメダルを授与する。
参加申込：(1)参加は、各施設・学校・市郡でチームを編成するものとし、監督１名コーチ１名以内選手12名以内とし、男女混合のチーム編成とする。（競技規則：チーム編成は男女混合とし、試合中は少なくとも１名以上の女性プレーヤーが出場していなければならない。）※ただし、単独で編成できない場合は、任意団体も可能とする。

(2)各チームの申し込み責任者は、参加申込書に必要事項を記入のうえ、原則３月31日（木）までに障害者スポーツ協会（福祉センター内）に申し込むものとする。

注）各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者は最小限（各選手２名まで）にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行っていただく。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

そ の 他：(＊)試合形式についてはリーグ戦を予定している。なお、優勝したチームは、全国障害者スポーツ大会近畿ブロック予選会に出場する。

フライングディスク競技会実施要項

日　　時：令和４年５月８日（日）※少雨実施
9：00　　受付開始（身体障害の部）※福祉センター
※　開会式実施しない
10：00　　競技開始（身体障害の部）　アキュラシー、ディスタンス
※　閉会式・表彰式は実施しない
12：00　　受付開始（知的障害の部）※福祉センター
※　開会式実施しない
13:00　　競技開始（知的障害の部）　アキュラシー、ディスタンス
16:30　　競技終了（予定）　※閉会式・表彰式は実施しない

会　　場：奈良県立高等養護学校　グラウンド、奈良県心身障害者福祉センター

審判協力：奈良県障害者フライングディスク協会

競技規則：2022 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

開 会 式：
閉 会 式：
※実施しない。放送等で競技開始を呼びかける。全ての試合が終了し、結果が判定された時点でメダルを授与し、選手は個々に解散する。

競技方法
【アキュラシー競技】
スローイングラインより 5m又は 7mの距離からアキュラシーのゴール（内径 91.5cm の輪）に向かってディスクを投げ、10 投のうち通過した数を得点とする。

【ディスタンス競技】
スローイングエリアから 3 回投げ,そのうち最も遠くへ飛んだディスクの飛距離を計測する。

注意事項：(1)競技に使用するディスクは主催者が用意したものを使用する。
《ファストバックモデル、直径 23.5cm、重量 100±5g とする》
(2)競技場所への誘導は，競技役員・補助員・係員が行う。
(3)介助者が必要な選手のみ介助者の付添を認めるが、介助者以外の競技場への入場は禁止する。<u>【注意されても従わない場合、失格になる場合がある】</u>
(4)番号布（ゼッケン）は，主催者があらかじめ用意したものを競技服装の胸と背中にはっきり見えるようにつけること。＜競技終了後、本部席に返却すること＞
(5)招集は，競技開始 15 分前に始まり，5 分前に完了する。
(6)招集に遅れた者は棄権とみなし出場を認めない。
(7)天候の具合で、ディスタンス競技を実施しない場合がある。

注）各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者は最小（各選手２名まで）限にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行っていただく。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

表　　彰：表彰式は行わないので、各組別の競技終了後に試合結果が判定された時点でメダルを授与する。

水泳競技会実施要項

日　　時：令和４年５月15日（日）
9:00　　出場選手受付（会場内エントランス）
9：30～10:00　　自由練習
※　開会式は実施しない
10：30～　　競技開始
12：00（予定）　　競技終了　各自解散
※ 閉会式は実施しない

会　　場：まほろば健康パーク　スイムピア奈良【大和郡山市宮堂町310】

競技運営：奈良県水泳連盟

競技規則：2022年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。
(1)次に示す障害区分番号の者は、水中スタートをしなければならない。
区分番号－8・9・11・13・14・15・17・18・19・22
(2)介助対象となる障害区分
スタート介助《入退水介助含む》：区分番号－11・13・17・19・22
タッピング：区分番号－23（必ず必要）、24
同伴・介助：区分番号－26《情緒不安定、種目の指示(種目を理解できない)》

競技方法：(1)選手の紹介
競技前の選手紹介の際は、椅子から立つものとする。ただし、車椅子使用者及び起立できない選手は、右手を挙手するものとする。
(2)補　助
視覚障害者及び下肢障害者等で、プールの出入りなどで補助を要するものには、救助員を配置する。
(3)誘　導
競技場内での誘導は、競技会係員が行う。
(4)スタートは１回スタート（フォルススタートは失格）とする。
(5)今年度、リレーは行わない。

注意事項：**(1)今年度は、１人１種目の出場とする。**
(2) 招集は、施設内召集場所で行うので係員の指示に従うこと。
(3)招集は、各競技開始時刻30分前に開始し、15分前に完了する。
(4)招集に遅れた選手の出場は認めない。
(5)水泳競技場内においては、事故防止に十分注意すること。
(6)介助が必要な選手のみ介助のための入場は認めるが、競技役員の業務や、他の選手の妨害をしないこと。また、選手へのコーチ等の助力は一切禁止する。
(7)会場の秩序については、競技役員の指示に従うこと。
(8) 開・閉会式を行わないので各自の出場種目の召集には遅れないこと。また、各自の競技終了後には個々に解散する。

注）各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者は最小限（各選手２名まで）にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行っていただく。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

開 会 式：
閉 会 式：
※ 開会式は行わないので、競技開始の30分前には召集し、競技開始15分前には集合を完了する。
表 彰 式：
閉会式は行わないので、各自の競技終了後に個々に解散する。表彰式は行わないので、各組別の競技終了後に順次メダルを授与する。

陸上競技会実施要項

日　　時：令和４年５月22日（日）　※雨天決行
9：00～　受付開始（身体障害の部）　※　橿原陸上競技場玄関横付近
10：00　　競技開始（身体障害の部）
12：00～　受付開始（知的障害の部）　※　同上
13：00　　競技開始（知的障害の部）

会　　場：奈良県立橿原公苑陸上競技場

競技運営：奈良陸上競技協会

競技規則：2022年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

出場制限：陸上競技奈良県予選会に限り、出場制限を設ける。（本年度は１人１種目）
出場制限の詳細については、大会開催要綱　9.出場制限　を参照。
また、陸上競技大会に関連する詳細な説明は、５月11日（水）開催予定の、陸上競技事務担当者会議で説明します。
開・閉会式を行わないので各自の出場種目の召集には遅れないこと。また、各自の競技終了後には個々に解散する。

注）各競技会は、原則として参加者を選手と介助者のみとし、観覧者は最小限（各選手２名まで）にとどめていただく事とする。また、全ての来場者には健康チェックシート及び検温、マスクの着用を行っていただく。ただし、競技中選手のマスク着用は任意とする。

競技方法：(1)走路及び試技順は、プログラム記載の順とする。
(2)セパレート・レーンで行う競技は、50m競走、100m競走、200m競走、400m競走とする。
(3)本年度は、リレーを実施しない。
(4)跳躍競技（走高跳以外）と投てき競技の試技は、それぞれ３回とする。
(5)視覚障害者の50m競走に使用する音源は、ハンドマイクに収納した音響とし、跳躍競技と投てき競技については、競技役員がカスタネット等で方向を指示する。

入場行進：入場行進は行わず、メインスタンドの所属の場所に座った状態で集合する。

開・閉会式：開会式及び閉会式は行わない。

招集について
(1)場　所：100mスタート側、第４ゲート外側の「招集所」において行う。

(2)時　刻：招集の開始及び完了の時刻は、次のとおりとする。
招集開始時刻　　競技開始時刻30分前
招集完了時刻　　競技開始時刻20分前

介助について
(1)入場は、競技者介助のための同伴入場のみとし、競技に関する助力は一切認めない。
(2)介助許可カードは、正面玄関横の受付係に申し出て交付を得るものとし、用務終了後受付係に返却すること。

表　　彰：**各競技終了後、各組ごとに１位から３位までの選手に順次メダルを授与する。表彰式は行わずに、メダルの受け取りのみとする。受け取った選手は、第２ゲートをまわって自席に戻り個々に解散する。**